



第53号

花だより

安佐南区
花いっぱい運動

令和3年春号

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局（安佐南区地域起こし推進課内） ☎ 831-4926 FAX 877-2299



【安東支部】 報告者：上長者 辰雄

❁ 早春の花の種蒔きと上手に発芽させるためのポイント

○ 早春の花の種蒔き

桜の花が散り山々が萌黄色から新緑に変わるこの季節、園芸に携わる者には、忙しく、また、楽しい春の訪れです。花いっぱい運動に参画している私達は、毎年春秋の年2回、花の種を蒔いて花苗を育てています。今春は、マリーゴールド(フレンチ、アフリカン)、ジニア、千日紅、メランポジューム、ダリア、コリウスの種蒔きをして花苗を育てます。今年もコロナ禍で三密を避けるため、グループ活動を控え、各自の自宅で花苗を育てることとしました。



5、6月は、ビオラ、撫子、ゴテチャなど冬・早春に咲く花が盛りを過ぎ、花壇を彩る花がなくなるので、花のない期間をできるだけ少なくするためには、春に種をまく花を早く育てることが必要です。そこで、気温の低い時期、発芽適温が低い花を屋内で管理して発芽させることとし、3月上旬マリーゴールド(フレンチ)、3月下旬マリーゴールド(アフリカン)・ジニア、4月上旬千日紅の種蒔きをし、夜間は暖房の効いている屋内、昼間は日の当たる場所に蒔き床を移動して管理しました。その結果、発芽率は、発芽適温 15～20℃のマリーゴールド(フレンチ・アフリカン)60%、発芽適温 20℃のジニア 50%、発芽適温 20～25℃の千日紅 40%で、それぞれ発芽しました。

マリーゴールドは、順調に成長したので、4月中旬フレンチ、4月下旬アフリカンのポット上げをし、各自の自宅で花苗を育てています。

これから気温が上昇し、屋外の地温、発芽適温が 20 度以上になる 5 月上旬、その他の花の種蒔きをしようと思っています。



○ 上手に発芽させるポイント

早春の気温の低い時期における屋内で管理する花の種蒔き体験を踏まえ、上手に発芽させるためのポイントを取りまとめました。



- ・ 発芽適温に合わせて種蒔き

種蒔きして花苗を育てる場合、上手に発芽させるための第1のポイントは、発芽適温に合わせて種蒔きすることです。花の種袋には、「発芽適温〇～〇℃」と記載されています。

発芽適温は、気温でなく、種を蒔く床の土の中の温度、地温のことです、早春は屋外では、なかなか適温にならないので、発芽適温の保てる屋内で適宜よく日の当たる場所に蒔き床を移動して発芽させることができます。地温を測る時は、蒔き床に差すタイプの地温計を活用すると効果的です。

- ・ 覆土の厚さ

覆土も発芽率を上げるためのポイントです。覆土が薄すぎると、種が露出して乾きやすくなり、逆に覆土が厚すぎると、双葉が表面に出てこられず発芽は失敗します。覆土の適量は、種の厚さ分ほどが標準です。

- ・ 水やり

種を発芽させるためには、水が必要です。種は、水を与えられることで発芽代謝がはじまります。種蒔き後、発芽するまで蒔き床の表面の土が湿っている必要があります。

基本的には、毎朝1回水やりをします。水を与えすぎて過湿になると、種が腐ることがあります。



○ 私達の願い

安佐南区花いっぱい運動は、花いっぱいの街づくりを目的とし、種蒔きして花苗を育て、公園など公共の花壇に花苗を植えて管理する活動です。花には、見る人に安らぎや喜びを与え、心を癒す力があります。長引くコロナ禍で活動を制限され市民の心は滅入りがちです。私達の管理する花壇の花を多くの人に見て頂き、安らぎや喜びを与え、沈んだ心が癒されることを切に願っています。



【沼田支部】報告者:西川 郁子

❁ 大朝の「テングシデ群落」

新緑の季節におすすめしたいのが、北広島町大朝の「テングシデ群落」です。

浜田自動車道大朝インターチェンジから車で15分。非常に奇異な樹形を呈したイヌシデの変異種「テングシデ」が、淘汰されずに継承され、世界でただこの地だけに繁殖して群落を形成しています。大小100本が様々な形で、幹が曲がりくねり、枝がしなだれるなど、本来のイヌシデにはない独特な枝ぶりに特徴があります。



この枝に天狗が座っていたなどの伝説が有ることから、テングシデと呼ばれて、地域の人たちから大切にされてきました。冬の落葉した時期の枝ぶりも見事なのですが、若葉のライムグリーンが鮮やかなこの時期のテングシデは、青空に映えて美しく、一見の価値があります。



テングシデ群落



イヌシデ花穂

このテングシデのもともとの種であるイヌシデは、日本各地でみられる樹木です。花穂が、「注連縄（しめなわ）」や玉串に垂らす紙片の「紙垂（しで）」に似ていることから、アカシデやイヌシデと呼ばれるようになりました。

ところでみなさん、樹木にはよく「イヌ」という呼称を聞くことがありますか？イヌツゲやイヌマキ、イヌシデもそうですね。これは「否ぬ」＝「似ているけど違う」という意味でつけられているそうです。ホンツゲではない、ホンマキではないという否定の「イヌ」が接頭語になっているんだとか。

樹木にかかわる仕事をしながら、かなり長い間「犬」の字を充てていた私は、浅学を恥じたものです。広島市内から割と手軽に行けますし、そこまで有名ではないので、混雑もそうそうありません。よく晴れた日にぜひ足を運んでみてくださいね。

【祇園西支部】報告者：櫻井 孝子

❀ クリスマスローズ オープンガーデン見学

昨年はコロナ流行のため中止となった「クリスマスローズ・オープンガーデン」ですが、今年は、例年通り3月に開催されるということで楽しみに行ってきました。場所は、JR 可部駅東口北隣、徒歩3分のお庭です。

何時ものことながら、シングル・セミシングル・ダブルと色とりどりのクリスマスローズが華やかに咲き誇っていました。今年は気に入った一株を買って来ましたので、大きく育てたいと思います。

広島ではあまりオープンガーデンの話は聞きませんが、興味のある方は、マスクなどコロナ対策をして是非行ってみてください。6月には「紫陽花」のオープンガーデンが予定されているようです。



❀❀ 安佐南区花いっぱい運動 ❀❀

安佐南区では、区民のみなさんが主体となって区全体を花でいっぱいにしようという趣旨に基づき、「安佐南区花いっぱい運動」を行っています。皆さんもぜひ、この運動に参加し、花壇づくりを始めてみませんか。



瀬戸内ハイツ入口



第二祇園が丘団地



相田第七公園



花いっぱい運動 花壇登録の流れ

●手続き
安佐南区地域起こし推進課へ連絡
その後、必要書類を提出

●花壇づくり作業の開始
必要に応じて初回に3万円分の資材
提供を行います。

●花壇づくり後
日々の世話、花苗の植え替え等

★花いっぱい運動 支部に参加
区役所から種や土・肥料などの提供が
受けられます。

★花と緑のまちづくり地域活動促進事業
3年以上の活動団体は緑政課の制度で資
材の支援を受けることができます。

花いっぱい運動の登録花壇には、緑の看板を設置しています。令和3年3月現在で登録花壇は約 **100 か所**！区内公共施設、公園、道路沿いなど区内の様々な場所に花壇が設置されていますので、皆さんもぜひ探してみてください。

また、花いっぱい運動の参加も大歓迎！

詳しくは、安佐南区役所地域起こし推進課までお問い合わせください。



そのほかにもこのような活動をしています

＊花いっぱい運動推進委員会

ボランティアの皆さんが種から育てた花を使って、区役所の花壇づくりや区民まつりでの「花の塔」展示などを行っています。

＊花づくり講習会

毎年、区内の公民館で「花づくり講座」を開講しています。花づくりの基本を学べます。

＊花だよりの発行

季節ごとに花に関する情報誌「花だより」を発行しています。

＊区HPで花壇紹介

花いっぱい運動に登録している花壇を区HPで紹介しています。

❀❀ 花と緑で地域を元気にしませんか ❀❀